

令和2年5月20日

静岡県知事 川勝 平太 様

東海旅客鉄道株式会社
代表取締役社長 金子 慎

中央新幹線南アルプストンネル静岡工区の準備再開について(お願い)

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

現在、国等と連携され、貴県を挙げて新型コロナウイルスの対応に取り組まれておられる状況に一刻も早い事態の収束を願っているところです。

さて、今般、国土交通省のお骨折りで、4月27日に有識者会議が発足しました。その際、同会議における私の発言に対して、貴殿、流域市町長、利水関係者の皆様から抗議を受け、国土交通省から、発言は会議にふさわしくなく、今後は、同会議に説明責任者として真摯に取り組むよう指導を頂いたことは、申し訳なく、重く受け止めております。この反省に立って、弊社としては、この会議に真摯に対応することで、静岡県及び関係の自治体、団体、そして、地域の皆様の心配の解消に取り組んで参ります。また、この旨、5月15日に開催された有識者会議においても、弊社の宇野副社長から表明したところです。

一方、中央新幹線南アルプストンネルの静岡工区については、トンネル掘削の前段で行うヤード整備等を進めることについて、現在、中斷(西俣非常口、榎島導水路トンネル坑口)、未着手(千石非常口)となっております。リニア中央新幹線(品川～名古屋間)については、完成予定時期を2027年として国土交通省より工事実施計画の認可を受けており、また沿線自治体等においてもこの時期に合わせて沿線開発等が進められています。このため、弊社といたしましては、この目標を何としてでも達成する必要があると考え、努力しているところです。そのような中で、南アルプストンネルについては2027年時点での完成(トンネル掘削に加え、各種線路設備や安全確認のための諸試験を含みます)に向けて、工程は大変切迫した状況にあり、6月中にも上記のヤード整備等の準備を再開する必要があります。

つきましては、準備を速やかに再開することについて、貴殿のご理解を頂けるよう、何卒お願い申し上げます。また、先月16日に貴殿との面談の申し込みをさせていただいたところですが、改めて面談をお願いし、本件について直接ご説明させていただきたいと考えております。貴殿におかれましては、現在新型コロナウイルスへの対応が喫緊の課題であることは十分承知しておりますので、面談の時期や方法につきましては、状況を踏まえ、できるだけ早い時期に調整させていただければと存じます。

なお、当該ヤード整備は、有識者会議で議論されているトンネルの掘削とは別の作業であり、またヤードの整備以降、斜坑の掘削工事には相当の期間を要しますので、南アルプ

トンネル本体の先進坑、本坑の工事に取り掛かるまでには3年余の期間もございます。斜坑の掘削を進めるにあたっては、今後の有識者会議での議論等を踏まえて施工計画に基づく環境保全計画を作成し、貴県からのご意見をいただいた上で着手する予定です。これから、有識者会議において、水利用や環境保全についての科学的かつ建設的な議論が進められて行くよう、弊社も全力で取り組んで参りますので、是非、有識者会議の審議と並行して準備を再開することについてのご理解を賜りますよう、衷心よりお願い申し上げます。

以上